



全国学力学習状況調査の結果

5月に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校における結果を報告します。学力調査は、国語、算数の2教科について行われました。国語は全国平均とほぼ同じ結果でした。算数は全国平均を上回る結果でした。

I 結果の分析

- (1) 国語では「話す・聞く」「読む」領域において正答率が全国を上回りましたが「書く」領域においては、全国を下回ってしまいました。
- (2) 算数では「数と計算」「変化と関係」「データの活用」領域において正答率が全国を上回りましたが「図形」の領域においては、わずかに全国を下回ってしまいました。

II 結果を生かした授業改善

- (1) 結果を踏まえて普段の生活の様子を振り返ると、「書く」ことを苦手とする児童が多いように思われました。そこで国語の「書く」領域においては、事実を明確にし、事実から分かることを書く学習や、2つ以上の資料から共通点や相違点を明確にして書く学習に取り組むことが必要だと考えました。そこで、その点を意識して授業を進めています。
- (2) 同様に算数の「図形」の領域においては、示された図形とその図形に関する式との関係を、式の意味をとらえたり、式に使う数値に着目したりして、筋道を立てて考えていく学習に取り組む必要があると考え、その点を意識して授業を進めています。
- (3) 昨年度に引き続き、本年度も5月と11月に村瀬公胤先生（麻布教育研究所所長）を講師にお招きし、「学び合う授業研究会」を開きました。全学級担任が授業公開を行い、学び合いの授業に焦点をあてて、小グループで情報交換をしました。今、必要なのは、子どもたちが「考える」授業への転換です。そのために、子どもたちは「教わるから学びとる」へ、教師は「教えるから学びとらせる」へ意識改革をしながら授業をデザインしていく研修を進めています。



村瀬公胤先生

III 児童質問紙調査

毎回、学力調査と同時に、生活習慣や授業に関すること等について、児童が質問に答える「児童質問紙調査」が行われます。

特に顕著な結果が表れたのは「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか?」という質問です。全国で「ほぼ毎日」と答えた児童は28.2%だったのに対し、

本校児童は 55.1%でした。同じく「学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか?」という質問に対し、本校で「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」と答えた児童は 100%でした。

一人一台タブレットが配置されてから、本校ではタブレットの積極的な活用を推進してきました。その結果が表れたのではないかと思います。今後も、有効な活用方法を探りながら児童の学力向上につなげていきたいと考えています。



タブレットを活用した授業

IV 結果の活用について

今回の結果については、全職員で分析・研修し、各学年における学習指導の参考として積極的に活用しています。夏休み中に東信教育事務所指導主事を講師に今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果分析研修を行いました。そして、今年度出題された問題を実際に解くことで具体的な学力向上のポイントを考え合いました。

12月のフォトギャラリー



2年：味噌づくり



1年：焼きいも



5年：わら細工

◇今後の予定

1月

10日 (水) 3学期始業式
 11日 (木) 児童会
 15日 (月) 心と体について考える
 旬間(～26日)
 23日 (火) 6年：中学校体験②
 24日 (水) 児童会選挙
 25日 (木) PTA 総委員会・代議員会
 26日 (金) 4・5・6年：スキー教室
 30日 (火) 2・3年：スケート教室
 31日 (水) 児童会 (最終)

2月

2日 (金) 5年：参観日 支部長正副会長決め
 6日 (火) 3年：参観日
 8日 (木) 4年：参観日
 14日 (水) 2年：参観日
 児童会 (準備委員会)
 16日 (金) 1年：参観日 PTA 新旧引継ぎ会
 21日 (水) 地区子ども会
 22日 (木) 6年：参観日
 26日 (月) 集団登校 (～3/1)